

サルの苑タイムズ

「しんたかお祭り」開催へ(11月3日〜5日)
作品展に花の苑から30点を展示

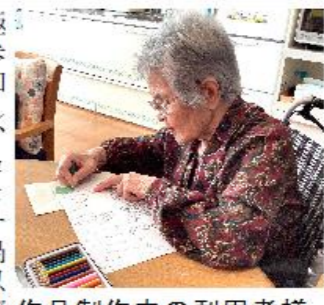
地域の伝統行事・新高尾地区文化祭(しんたかお祭り)が四年ぶりに通常開催することが決定し、高崎花の苑にこのほど新高尾地区地域づくり活動協議会(野矢会長)から連絡がありました。

日程は十一月三日(文化の日)が芸能発表で、四日(土)五日(日)が作品展。会場はともに新高尾小学校体育館。

高崎花の苑では、これまで地域交流の一環で「しんたかお祭り」に積



昨年度開催した作品展



作品制作中の利用者様



コロナ禍前の芸能発表

極参加し、コロナ禍以前では「芸能発表」に利用者様が地元住民と共に出席されていました。また「作品展」では、利用者様が書道、塗り絵をはじめとする幅広いジャンルの作品を出展してきました。

令和5年10月15日発行
第109号
 〒370-0002
 高崎市日高町433-1
 TEL: 027-329-7211
 社会福祉法人健康生会
 特別養護老人ホーム
 高崎花の苑広報委員会

た。今年は特に新高尾「作品展」に同時出展することを前提に苑内で「第一回華咲く作品展」を開催しており、追加の作品を含め塗り絵、貼り絵、ちぎり絵、写真、俳句、書道、手芸などの分野で合計三十点(参加者二十七名)を出品します。

「中秋の名月」 次のチャンスは7年後

古来から月が最も美しいとされる「中秋の名月」。旧暦の八月十五日の夜に見える月を指します。今年も満月と重なり、平安時代からの習慣だとされるお月見の絶好のチャンスに。九月二十九日



午後七時過ぎ、雲の間から現れ、市庁舎など街中の頭上を赤く照らす満月をカメラに収めました。「中秋の名月」と「満月」が重なるのは、次は七年後の二〇三〇年だそうです。

「敬老の日」祝賀行事を各ユニットで 満百歳慶祝訪問も(高崎市)

「敬老の日」を祝賀して苑内各ユニットでは、それぞれ利用者様への最大の敬意を払い、記念行



事を実施しました。(詳細は三面、四面に掲載)一方、百歳の慶祝訪問では、Eユニット信澤ミ



ネ様のもとへ高崎市長の代理で長寿社会課の職員が訪れ、岸田文雄総理大臣並びに富岡賢治市長からの祝意の伝達と、記念品が授与されました。



苑内栽培日記
 一号館中庭及び二号館E Fユニットベランダでは、プランターによる夏野菜栽培が終わり、秋植えの野菜や植物のシーズンを迎えています。
 九月初旬に種まきしたミニ大根が葉を大きく茂らせ、順調にいけばさつまいもと共に十月下旬頃には収穫できそうです。また、初のイチゴ栽培は、一季なりイチゴ(来春収穫)の他、四季なりイチゴの苗を九月中旬に植えました。高温状態が長く続き、順調に成長する心配しながら見守っています。



雑感手帖

加藤 和昭

一年に一回程度ですが、職員面接をします。職員面接には大きな意義があり、なかにはスタートに取り繕わない意見もあります。

最近では存外正しいと感じます。ただ強すぎる自分の価値観を主張しすぎると、それで周囲を不幸にすることもあるように思えます。慎重に話した方がいいでしょう。

主張をするマイノリティと主張の少ないマイノリティ。普段主張の少ないマイノリティから何かを引き出し、そこから本音が垣間見えた時に、職員面接の意義があるわけ

です。施設長に就任したての頃、ビジネス啓蒙や自己啓蒙本を割と読みましたが、今は成功者の教訓やメッセージには飽きています。そんな本を読んだところで、成功者のキラキラした人生にはならな



いという結論に至りました。自分には自分しかできないわけであり、私はごく普通の人生を送るのです。普通の人生は平たんなことではありませ

人間がそうなのでしようから。だからこそ、普通の人生を歩む皆と対話し、共感、理解、是正を含めて意見交換することの方が、啓蒙本を読むより大切です。

人間がそうなのでしようから。だからこそ、普通の人生を歩む皆と対話し、共感、理解、是正を含めて意見交換することの方が、啓蒙本を読むより大切です。

苑内研修でスキル向上を図る 「接遇・マナー」サービス向上委員会

各種委員会では、年間活動計画に基づき苑内研修を実施し、それぞれ職員のスクリップ向上を目指しています。

このうち、サービス向上委員会(渡邊直哉委員長)ではこのほど、「接遇・マナー研修」を実施しました。今回の苑内研修を担当したのは、先に

外部の接遇マナー講習を受講した委員会の副責任者・草間新菜職員。介護のプロとしての要件

この日の研修では、最初に介護のプロとして求められる「接遇」の内容にはどのような知識が基本として求められるか? また、外見・身だしなみや挨拶などを始めとする接遇マナーを確認し合いました。その上で、接遇の五原則と言われる①表情②身だしなみ③挨拶④言葉遣い⑤態度、に加えて「声質」が重要であると強調。接遇の五原則を理解し身に付けたとしても、相手への「伝え

方」によっては思わぬ誤解や不満につながるケースとなるため、改めて重要な要素として深く理解し、学んでいきたいとし、この日も研修の中で二名の職員により「声質」による伝え方」の演習を行いました。



「声質」の重要性を確認。その他研修では、介護現場で働く上でのチェックポイントとして①基本五原則のチェックリスト②人間観・生活感を意識した接遇を行うためのチェックリスト③ノーマライゼーション実現のためのチェックリスト④利用者のプライバシー保護のチェックリスト等々を確認し、自身の日々の業務に当てはめ、実現できているか、方向性は間違っていないかを確認しました。

質の高いサービスを提供最後に、接遇をけして軽視せず、しっかり身に付けることにより、利用者様との信頼関係構築、質の高い介護サービスに繋げ、併せてより良い職場環境の実現にもつながることを参加者全員で確認し合いました。



「私たちの仕事のうえで、「接遇」はとても大切と思っています。気を付けているようでも、見直してみると改めて気付くことも多いです。今回の研修で一番伝えたいと思ったことは、基本的な接遇の見直しと、プラスとして「声質」です。「声質」は表情や語尾の強弱、相手のタイミング等を考慮した伝え方です。それを身に付けて、より良いサービスの向上に繋げていきたいです」

第3回運営推進会議を開催 苑内状況など報告

令和五年度第三回運営推進会議が九月二十八日、高崎花の苑会議室にて行われました。冒頭、加藤施設長から出席者に向けて日頃から施設運営の支援と地域福祉推進に対し、心からの謝意を伝えました。

この後、苑内状況の報告として、入所者待機者数や入所者及び稼働状況の他、苑内の事故報告や感染症発生状況について報告を行いました。加えて、伝えられる介護員の人手不足に關連して、花の苑の職員充足率については、恒常的な人材不足の中、何とか充足率を維持している、との報告を行いました。

ユニットのたより

「百歳まだまだ元気」

「敬老の日」は社会に貢献されてきた高齢者を敬い、長寿を祝う日とされていますが、E・Fユニットでは利用者様に感謝の思いを込め、記念行事を行い、プレゼントを贈らせて頂きました。



記念行事のこの日、まずは今年米寿を迎えた内田様と百寿の信澤様のご紹介を。信澤様の年齢を聞いた皆様から「おめでとう！」「えー。百歳？ 見えないよ！」と驚きの声が上がりました。信澤様も「ありがとうございます！」と体を動かし、まだまだ元



他の皆様にもお一人ずつプレゼントをお渡しし、とびきりの笑顔写真に納めた後、長寿のお祝いにケーキを召し上がって頂きました。「久しぶり。本当に美味しい！」と皆様大変喜ばれ、さらにサプライズのハーモニカ演奏でますますの健康長寿をお祝いしました。(E・Fユニット U)

「感謝のプレゼント」

Dユニットの敬老の日記念行事は、日ごろ甘いものが食べたいとの声にお応えし、プリンアラモ

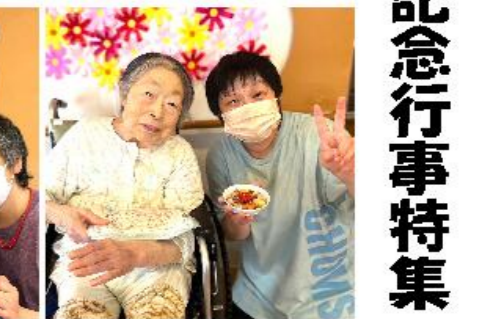
「敬老の日」記念行事特集

ド作りを行い皆様の健康と長寿を祝いました。市販のプリンに生クリームとチョコクリーム、フルーツをトッピングし召し上がって頂きました。プリンの上に載っている丸くて赤いのは何かと聞かれ、缶詰に入っていたシロップ漬けのスイカだと伝えると「これスイカ？」ととても驚かれていました。一口食べ、満面の笑みで「美味しい！」と大好評でした。



「長寿を願いカメラ」

BCユニットの九月行事では、敬老の日のお祝いもかねて蒸しパン作りを行いました。ホットケーキミックスをボールに入れてジュースとレーズンを加えた



折り紙で作った秋桜の前で記念撮影。笑顔がたくさん見られた記念行事でした。(Dユニット A)



後、泡立て器で混ぜる作業は、今回も我がユニットの頼れるお二方、福島様、反町様にお手伝いして頂きました。レンジで膨らませた後、各利用者様にトッピングして頂き完成！皆様、とても美味しく召し上がり「お店で買ったパンより美味しいね」と大変嬉しいお言葉を頂きました。この後、宮下公一様の誕生会も行いました。プ

カメラスケッチ

ようやく秋らしくなり、鼻高町「展望花の丘」のコスモスが見頃を迎えています。(九月二十六日撮影) 黄花コスモスの他、青空に映えるピンクのコスモスが本格的な秋の到来を感じさせます。

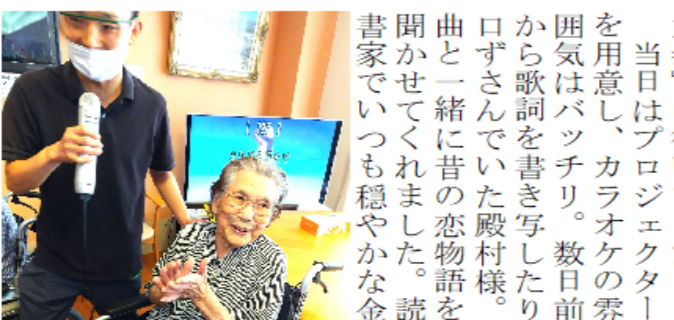


レゼントをお渡しして花飾りを頭にのせると、大変喜ばれていました。最後に皆様のご長寿と健康を願い、敬老の日を祝し、記念のカメラに納まりました。(B・Cユニット N)

ユニットのたより

「カラオケ大会で祝賀」

ASユニットでは「歌はリハビリにいいよね」との利用者様の一言を受けて「敬老記念カラオケ大会」を行いました。



当日はプロジェクトを留意し、カラオケの雰囲気はバツチリ。数日前から歌詞を書き写したり口ずさんでいた殿村様。曲と一緒に昔の恋物語を聞かせてくれました。読書家でいつも穏やかな金

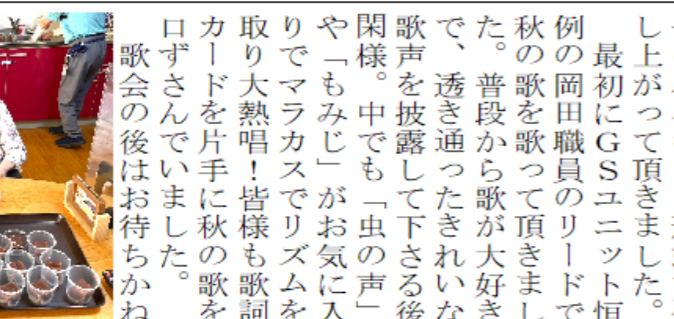


井様は「恥ずかしいから俺は聞くだけ」と遠慮されていましたが、懐かしいメロディーが流れると、照れながらも自然に歌詞が溢れ、途中で昔を思い出したのか声を詰まらせていました。

一緒に歌ったり、手拍子で参加したりと、皆様想像以上の声を披露し、大きな声を出して喉がカラカラ。この後、(ノンアル)ビールとワイン、そしてジュースで「長寿」に乾杯し、旬のフルーツ、シャインマスカットなどで喉を潤しました。この後、利用者様の笑顔と職員の一言コメントで作った色紙をプレゼントし、皆様がこれからも毎日笑顔で過ごし、健康長寿であることを願い、祝賀行事を終えました。(A・Sユニット U)

「敬老の日を秋の曲で」

GSユニットでは敬老の日の当日、記念イベントを行いました。利用者様に改めて敬意を払い、細やかながら秋の歌や色とりどりの美味しいお菓子をバイキング形式で召し上がって頂きました。



最初GSユニット恒例の岡田職員のリードで秋の歌を歌って頂きました。普段から歌が大好きで、透き通ったきれいな歌声を披露して下さる後閑様。中でも「虫の声」や「もみじ」がお気に入り。マラカスでリズムを取り大熱唱！皆様も歌詞カードを片手に秋の歌を口ずさんでいました。歌会の後はお待ちかね



のおやつバイキング。数種類を用意し、好きなものを選んで頂きました。中でも水羊羹やババロアが大人気で、普段小食な利用者様もお替りをされ大盛況でした。(G・Sユニット Y)

「え、かき氷再登場」

九月半ばを過ぎても真夏が続く中、HIユニットでは敬老の日の記念行事を行う中で、おやつにかき氷を召し上がって頂きました。ユニットの夏祭りではかき氷をたくさん食べたばかりの利用者様。皆様多数のリクエストを受けて再びかき氷が登場となった形です。皆様に美味しく召し上がって頂いた後、敬老の

「敬老の日」記念行事特集



日の記念に職員からのメッセージカードとプレゼントをお渡ししました。メッセージカードには、これまで数々の社会貢献やご活躍を敬い、その上で皆様一人お一人がこれからも健康で楽しい毎日を過ごして頂けるよう記しました。皆様からは「ありがとうございます！」との笑顔の言葉を頂きました。(H・Iユニット H)



委員の一言メモ

★実りの秋、葡萄の種類が多く、買うのに悩みましたが、どれも美味しく頂きました(由) ★外が過ぎやすくなってきたので、ライニングをして運動不足を解消しています(努) ★秋の味覚ランキングは一位がさつまいも。大好きなので今年も焼き芋をたくさん食べようと思います(彩) ★利用者様と夕方の空を見上げながら、日が短くなつたね、と秋の到来を感じています(麻) ★スマホの画面越しに見た真夏のイベント、たかきき祭りの花火・来年こそ実物見たいなあ(山) ★大聖護国寺の語り部会へ。九十四歳男性の昔話。感情がこもっており心が洗われました(芳) ★赤色が秋らしいコキア。家のコキアは強風で折れてしまいました。来年は丸く整った姿を目標に(美) ★花タイ十月秋号(一〇九号)が完成。祝賀行事特集、地域作品展、その他紙面の評価は如何に(丹)